

ローマオリンピックで  
金メダルをとった。



# 相原 信行

## 群馬のスポーツ人②



メルボルン、ローマ両五輪大会に連続出場、本県出身者では初めてオリンピックで金メダルを獲得し、「床の相原」として、世界的にその名を知られた体操選手、その人が相原信行さんです。

彼は昭和9年、高崎市下流町に生まれました。体操を始めたのは、高校時代から。それから、めきめき頭角を現しました。

プレーするときは、「絶対、失敗はしないんだ」と自分にいい聞かせ、「人間機械」と呼ばれた相原さん。身長154センチと大変小柄でした。

大学卒業後は、助手として大学に残り、昭和41年から、ベネズエラ国立スポーツ協会の専任コーチとして、夫人とともに同国の体操技術向上に貢献。翌年帰国し、県内の後進の指導にあたっています。

